

## 2学期も無事終了です



とうとう下伊那にも雪の便りがやってきました。朝は霜で真っ白になる日が多くなり、子どもたちもマフラーや毛糸の帽子、手袋などをつけて登下校するようになりました。そんな中でも職人さん方は手を止めることなく毎日工事を進めています。左は、19日の体育館の様子です。屋根にハリがのり、建物の全貌が見えてきました。この工程には専門の方が

必要とのことで、この仕事のために秋田県から来ている方もいらっしゃるということです。木製のハリをのせる体育館は珍しいらしく、いろいろな方から問い合わせがあります。子どもたちにとっては、もうすでに工事は学校生活の一部となり、名前を覚えて職人さんと仲良くなったり、フェンスの近くまで行き、中の様子をじっと見たりしています。先日

でもクレーン車に乗せてもらったり、13日に行われた焼き芋大会では、ほんの少しですが焼き芋を差し入れたりしました。今年の工事は30日まで続くということです。



## 工事のことを知る学習を行いました

ちょうど屋根上げまっただ中の12月12日、この工事の現場監督である神稲建設の清水靖貴さんに学校へ来ていただき、図工室にて建設の仕事について学ぶ会を開いていただきました。現場で使われているさまざまな種類の車や、働いている人たちの一日などについて、資料を見ながら話を伺いました。右の写真のように、図工室の窓からは職人さん方が働いている姿やクレーン車が動く姿を手取るように見ることができます。また、資料内の完成予想図（下写真）と比べると、今どの部分の工事を行っているか、とてもよくわかります。子どもたちは、説明して下さった内容や窓から見える景色に興味津々で、また、その時はちょうどハリが地面から屋根の上へ次々に運ばれている最中だったため、働いている方々に使われているハリについてもたくさんの質問が出されました。「職人さんは何人働いていますか？」

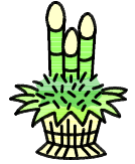


1階 アリーナ

「いつもはどんなものを食べていますか？」「職人さんはなぜニッカをはくの？」「この前龍泉閣にいましたね」などなど…。清水さんはひとつひとつの質問に、とても丁寧に答えてくださりました。ちなみにこのハリは天龍村産の木が使われており、一番大きなハリは約2トン（= 2000 kg）ほどあるのだそうです。重すぎて向きが変えられないので、クレーンでつり上げるときには、あらかじめ斜めにして持ち上げるとのことです。現場のことを知るととても貴重な時間となりました。



## 恒例の「おやす・しめ縄・餅つき大会」開催!



12月8日、とてもきれいな青空が広がりました。子どもたちは朝から...いや、前日から準備に大忙し。おやす・しめ縄を作るために教室を片づける子、ブルーシートを敷く子、すべとりをしたわらを運ぶ子、餅つきのために杵や臼を準備する先生方、そして、自分達で作ったもち米を研ぐ5年生。学校中に「師走」という言葉がふさわしいにぎやかな声が響き渡りました。当日は、朝

から招待したお各様がたくさん来てくださり、それぞれおやすしめ縄づくりを教えてください、研いだお米を蒸かしたり、ついたり、成形したりするのを手伝ってくださったりしました。

今年は畑や田んぼでたくさんのお米や野菜を収穫することができ、家へ持ち帰ったり学級で楽しみ会をしたり、時には給食の食材として使ったりして自然の恵みを堪能することができました。そんな感謝の気持ちがこもったおやすやしめ縄ができあがると、次は餅つきです。熱々のもち米が臼の中に放り込まれると、まずは杵でぐりぐりとつぶしていき、お米の粒がだんだん見えなくなったらいよいよ餅つきのはじまりです。子どもたちは周囲のかけ声とともに、力いっぱい、そして楽しそうにお餅をついていました。また、お昼には、各教室で招待した方々と一緒に、自分達がついたお餅を食べ、最後に、今年も1年お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えて会を終りました。

今、正門前には、シニアクラブの方々が飾ってくださった門松としめ縄がお正月を待っています。

学校や子どもたちが地域の方々に見守られ、たくさんの協力をいただきながら日本の伝統であるおやす・しめ縄づくりや餅つきを見たり聞いたり体験できる環境が本当に貴重であり、天龍の子どもたちにとってはなくてはならない大切な時間だと、子どもたちがお客様とやりとりをする姿や表情から実感しました。ご協力いただいた地域の皆様、保護者の皆様本当にありがとうございました。今後もぜひ多くの皆様の応援をいただきますようよろしくお願いいたします。



## 2022年も無事終わりそうです...



寅が去り...

卯来たる!



2学期の始まりは、30℃を超える暑い中でのプール学習と運動会の練習でスタートしました。そう考えると、今学期もたくさんの行事や活動を行いました。どの活動にも、保護者の皆様や地域の皆様から多くのご支援や温かい励ましの言葉をいただきました。また、それらの活動をとおして、天龍小学校の子どもたちは、村の伝統や文化、自然や産業などを学ぶことができ、また一回り大きく成長することができました。おかげさまで、令和4年(2022年)もとても充実した中無事終了することができます。このお休みは、いつもの長期休業に加え、お年とりをしたりお正月を迎えたりと、それぞれのご家庭で日本の伝統や文化を体験できる時期でもあります。ぜひ、日本のお正月を満喫し、2023年に向けて新たな目標を立て、全員元気な笑顔で1月6日に登校してください。...今年のお休みは他よりちょっと早く始まるので、もしかすると今、

子どもたちの一番の楽しみは、クリスマスプレゼントなのかもしれません。何はともあれ、2022年ありがとうございました。2023年もよろしくお願いいたします。

では皆様、よいお年をお迎えください。

Merry Christmas and a happy new year!



